

アウトリーチ型定着促進支援「課題解決研修会」

東京都ナースプラザでは、担当者が200床未満の病院を訪問し、看護職員定着促進の支援をしています。6月10日(月)、東京都看護協会新会館で「課題解決研修会」を開催しました。11病院の看護管理者やコアメンバー等23名が「めざす姿」をキーワードに話し合いました。

講義

テーマ：めざす姿を共に探そう
講師：東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野
准教授 武村 雪絵先生

看護管理者とコアメンバー（ともに取組む仲間）でこれから自分たちがめざす姿を描き出し、共有しましょう。



グループワーク

病院ごとにグループワークし、自分たちの職場や看護をどう変化させたいかを話し合いました。



- ・患者はどんなケアを望んでいるのか
 - ・それを変わると、患者にとって何がかわるのか
 - ・職員にどうなってほしいのか
 - ・それを変わると、職員にとって何がかわるのか
 - ・本当にそれが問題なのか
- ★ 以上の視点で意見交換し、現状とのギャップを確認しました。



発表

「めざす姿」を共有し、今年度の取組むテーマをしぼりました。

- ・抑制しない看護
- ・住み慣れた場所で生活ができる看護
- ・患者・家族の希望に沿った退院調整
- ・安心して地域に帰れる看護
- ・安らかな看取りができる看護
- ・患者の今後につながる記録
- ・個人で考え、気付ける看護



昨年参加した
病院から

「患者さんがここに入院してよかったと感じられる病院」をめざし、マナーの行動基準を作成しました。今年度は基準に沿ってマナー向上に取り組めます。ともに取組んだコアメンバーは、自ら考え、行動するようになり、たくましくなりました。



講師からのメッセージ

何かを変えていくことは難しいが、患者さんや地域のために自分たちの組織は何ができるかを考え進めましょう。

看護管理者の皆様、「アウトリーチ型定着促進支援」に参加し、魅力ある組織づくりに取り組んでみませんか？
次回の研修「交流会」は、10月4日(金)です。

